

科目名	経済学史Ⅰ	科目分類	■専門科目群 □総合科目群		
			経済学科	□必修 ■選択	
			学科	□必修 □選択	
英文表記	The History of Economic ThoughtsⅠ	開講年次	■1年 □2年 □3年 □4年		
		開講期間	□前期 ■後期 □通年 □集中		
ふりがな	しまだ こうや	実務家教員 担当科目		修得単位	2単位
担当者名	嶋田 耕也	実施方法	■対面のみ □遠隔のみ □対面・遠隔併用		
授業のテーマ	古典学派から新古典派へ				
到達目標	経済学の父たるスミスの理論は、現代においても十分通用する思想的・学說的意義を持つことの確認。				
授業概要	アダム・スミスの経済学とは何か。それを引き継いだリカード、マルクスは何を発展させたのか。そして新古典派は、スミスの何を受け継ぎ、何を放棄したのか。				
授業計画					
第1回	経済学説全体の大きな流れ				
第2回	アダム・スミスの生涯				
第3回	アダム・スミスと重商主義、重農主義				
第4回	アダム・スミスの経済理論（Ⅰ）				
第5回	アダム・スミスの経済理論（Ⅱ）				
第6回	アダム・スミスの経済理論（Ⅲ）				
第7回	リカード、マルクスの経済理論				
第8回	新古典学派 ジェボンズ、ワルラス、メンガー				
第9回	効用価値学説と限界革命（Ⅰ）				
第10回	効用価値学説と限界革命（Ⅱ）				
第11回	効用価値学説と限界革命（Ⅲ）				
第12回	市場の経済学（Ⅰ）				
第13回	市場の経済学（Ⅱ）				
第14回	市場の経済学（Ⅲ）				
第15回	ケインズの登場				
第16回	定期試験				
授業時間外の 学習	日頃から新聞テレビなどで、経済現象に対して関心を持つようにしましょう。				
履修条件 受講のルール	経済学史Ⅱも履修することが望ましい。 授業には必ず出席するように。				
テキスト	中村達也・新村聡・八木紀一郎・井上義朗(2001)『経済学の歴史』有斐閣を薦める。				
参考文献・資料	講義中に適宜、紹介します				
成績評価の方法	定期試験の点数で評価を決定します。 ※出席回数が規定に満たない場合、授業料その他納入金未納の場合は試験を受けることができません。				
オフィスアワー	水曜日に来訪してください。				
成績評価基準	秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)				

実務経験及び実務を活かした授業内容	
学生へのメッセージ	18世紀の経済学者アダム・スミスとその継承者を理解しよう。